

2026年度 神奈川歯科大学附属病院 臨床専攻生研修内容

小児歯科診療部門 組織概要

主任教授	仲井雪絵
指導医	井上 吉登, 中村 州臣, 永塚 綾野, 中島知佳子
連絡先	井上吉登 inoue@kdu.ac.jp

小児歯科診療部門における臨床専攻生研修

研修責任者		井上吉登
研修実施場所		神奈川歯科大学附属病院
専門分科会		公益社団法人日本小児歯科学会
研修内容 プログラム	一般目標 GIO	日本小児歯科学会認定医および日本歯科専門医機構認定小児歯科専門医の資格取得に必要な臨床能力(知識・技能・態度)を修得する。
	行動目標 SBOs	(1) 小児患者を一人の人格として捉え、年齢・発達段階に合わせた説明・告知と同意を得る。 (2) 多様な考えや背景を持つ家族と小児患者に対して信頼関係を構築する。 (3) 小児歯科治療の基本的技能を実施する。 (4) 最新の小児歯科学情報を常に吸収し、現状の小児歯科医療を検証する。 (5) 他者からの評価を謙虚に受け止め、生涯にわたって自己省察と自己研鑽に努める。 (6) 1口腔単位での治療計画を立案し、症例提示と意見交換を行うためのプレゼンテーションと討論ができる。
	方略 LS	(1) 小児歯科外来での見学・介助・自験 (2) 科内の臨床セミナーの参加 (3) 症例検討会、論文抄読会の参加 (4) 地域小児保健施設の研修 (5) 小児歯科学会および関連学会の参加・発表
	評価 EV	観察記録、形成的評価、口頭試問
特色		ライフステージの始まりである小児期の歯科経験が、生涯にわたる受療行動に大きく影響する。ゆえに小児期だけにとどまらず、思春期・成人期・高齢期も見すえた医療を実践する必要がある。齲蝕治療をcavity treatmentだけではなくcaries treatmentとして実施する。また外科処置、咬合誘導、全身疾患(基礎疾患)のある患児へ治療も行っている。MFTIに関しては歯科衛生士と協働で行っている。さらに、外来では対応が困難な患児に対して、行動科学に基づく対応法や、必要に応じて全身麻酔下での治療を実施している。学会指導医、機構専門医、認定医が指導を担当する。
期間、更新、手当		神奈川歯科大学附属病院臨床専攻生規程
応募		神奈川歯科大学附属病院臨床専攻生願書
募集人数		若干名